

地域の元気応援
プロジェクト



広島大学



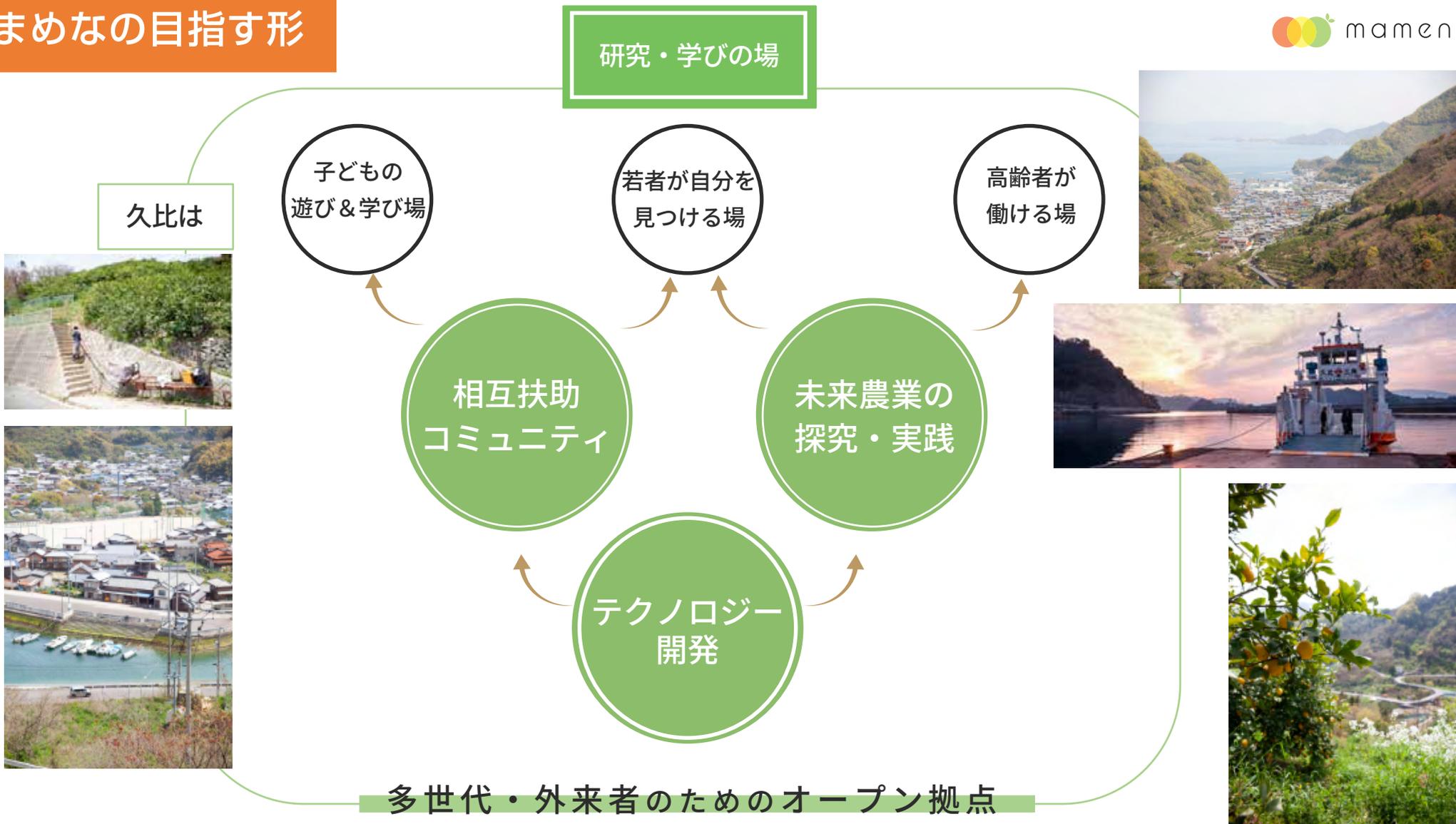
mamena

「くらしを、自分たちの手に取り戻す。」



mamena

まめなの目指す形



自らの研究や学びが自由にできる拠点

Albergo Diffuso

アルベルゴ・ディフーゾ

- 二拠点生活地
- 宿泊施設



分散型ホテル Albergo Diffuso

1980年代初めにGiancarlo Dall'Ara教授が提唱した廃村の危機にあるイタリアの小さな美しい村々に”再び息吹を”という伝統集落再生の試み。

数世紀に渡り、主のいなかった邸宅や住居などを、村の伝統やその歴史的背景に惹かれたオーナー自らが意匠に関わり“ホテル”として蘇らせている。

アルベルゴ＝ホテル、ディフーゾ＝分散 すなわち村全体を『分散型ホテル』として再生。村の広場は“ロビー”、通りは“廊下”、そして、建ち並ぶ家々が“客室”。

第1期 基本施設の改修開設

1) 旧梶原医院

①旧病院部分
→ メインコミュニティスペース



②母屋部分
→ コワーキング、宿泊



③病棟
→ コワーキングスペース



④別棟
→ ナースステーション



第1期 基本施設の改修開設

2) 寺尾邸 久比ベース
事務局、宿泊施設



**地域の元気応援プロジェクト
応募主旨**



step1

産学連携で久比に点在している、
現在は使われていない井戸の水質
分析・水脈を調査

step2

集落の井戸・湧き水を改善、
生物多様性豊かな久比の実現

step3

子供が安心して遊べ、
蛍が育つ川の整備

step4

豪雨・地震など緊急災害時の
代替水資源として井戸を活用

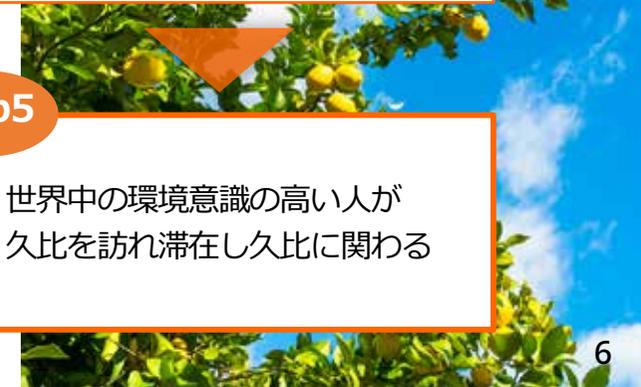
step5

世界中の環境意識の高い人が
久比を訪れ滞在し久比に関わる

step6

久比に広島大学生と地域がつな
がる持続可能な社会の在り方
について研究する拠点をつくる

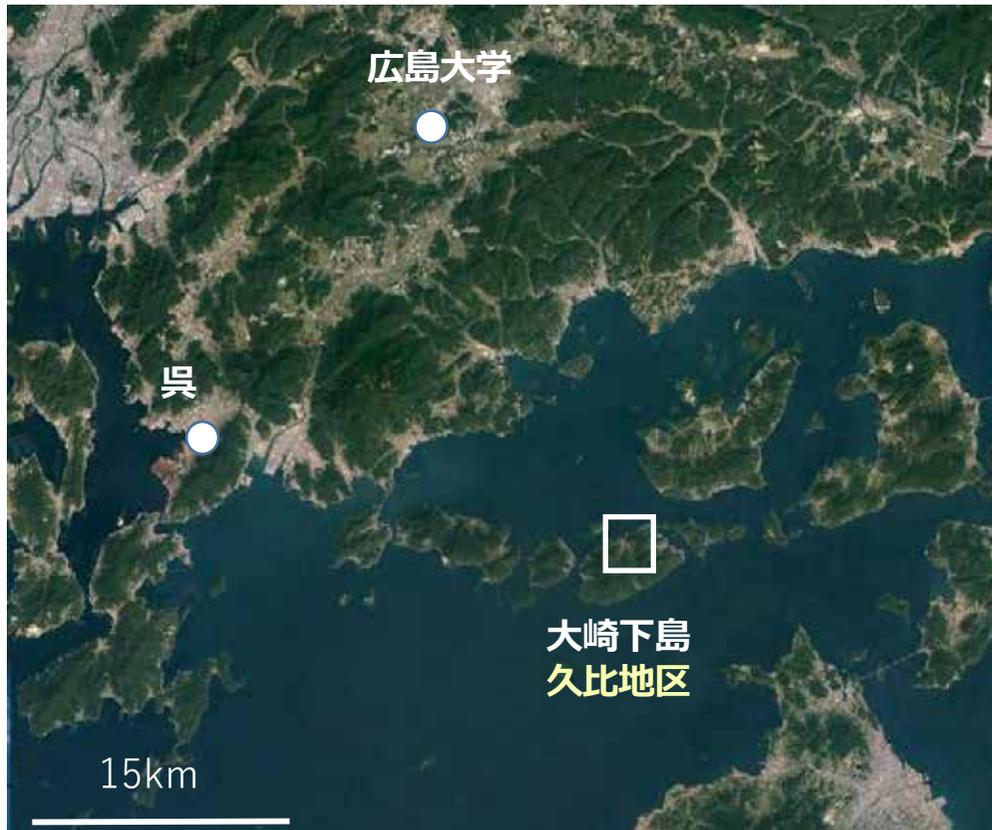
SDGsのNO.1.6.15に適合



**地域の元気応援プロジェクト
実施報告**

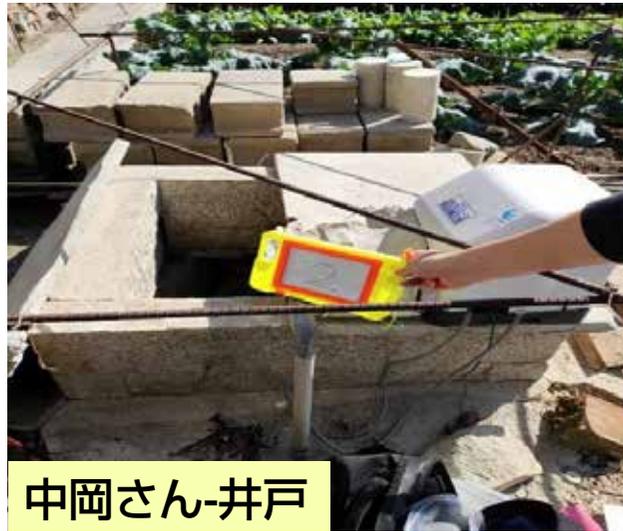
調査目的

久比地区における利用可能な水量は？
その水は安全（飲料できる）なのか？



調査の様子

フィールドワーク 学生によるサンプル収集



中岡さん-井戸



まめな-井戸



オレンジ農場



北村さん-井戸

調査の様子

		調査参加者			26日		27日		
名前	[は名札用]	ID	学年	参加	交通手段	11時-14時半	15時-17時	9時-12時	13時-15時
1	小野寺真一		教員	26-27	レンタカー1	①	①	①	御手洗観光
2	岩本洋子		教員	26-27	自家用車	②	②	②	御手洗観光
3	野崎真吾		学部4年	26-27	レンタカー1	③	③	③	御手洗観光
4	[ワン] 王昆陽		博士1年	26-27	レンタカー1	④	④	④	御手洗観光
5	[シャロン] Sharon Kimbi		博士1年	26-27	レンタカー1	⑤	②	③	御手洗観光
	[デニセ] SAHULATA								
6	DENISE WELDY HELLEN	B180996	学部2年	26-27	レンタカー1	⑥	④	①	御手洗観光
7	木場 結 [ライアン]	B180982	学部2年	26-27	レンタカー1	⑦	①	②	御手洗観光
8	TUTUARIMA RYAN YOSUA	B185200	学部2年	26-27	レンタカー1	②	③	④	御手洗観光
9	友澤裕介		技術補佐員	26	レンタカー2	⑦			
10	田村 真之	B180037	学部2年	26	レンタカー2	①			
11	澤田 さくら	B181510	学部2年	26	レンタカー2	③			
12	山口 菜々子	B185613	学部2年	26	レンタカー2	④			
13	田牧 明花音	B180587	学部2年	26	レンタカー2	⑤			
14	坂口 愛海	B171126	学部3年	26	レンタカー2	⑥			

10/26-27

広大調査（広大参加者14人）

11/16

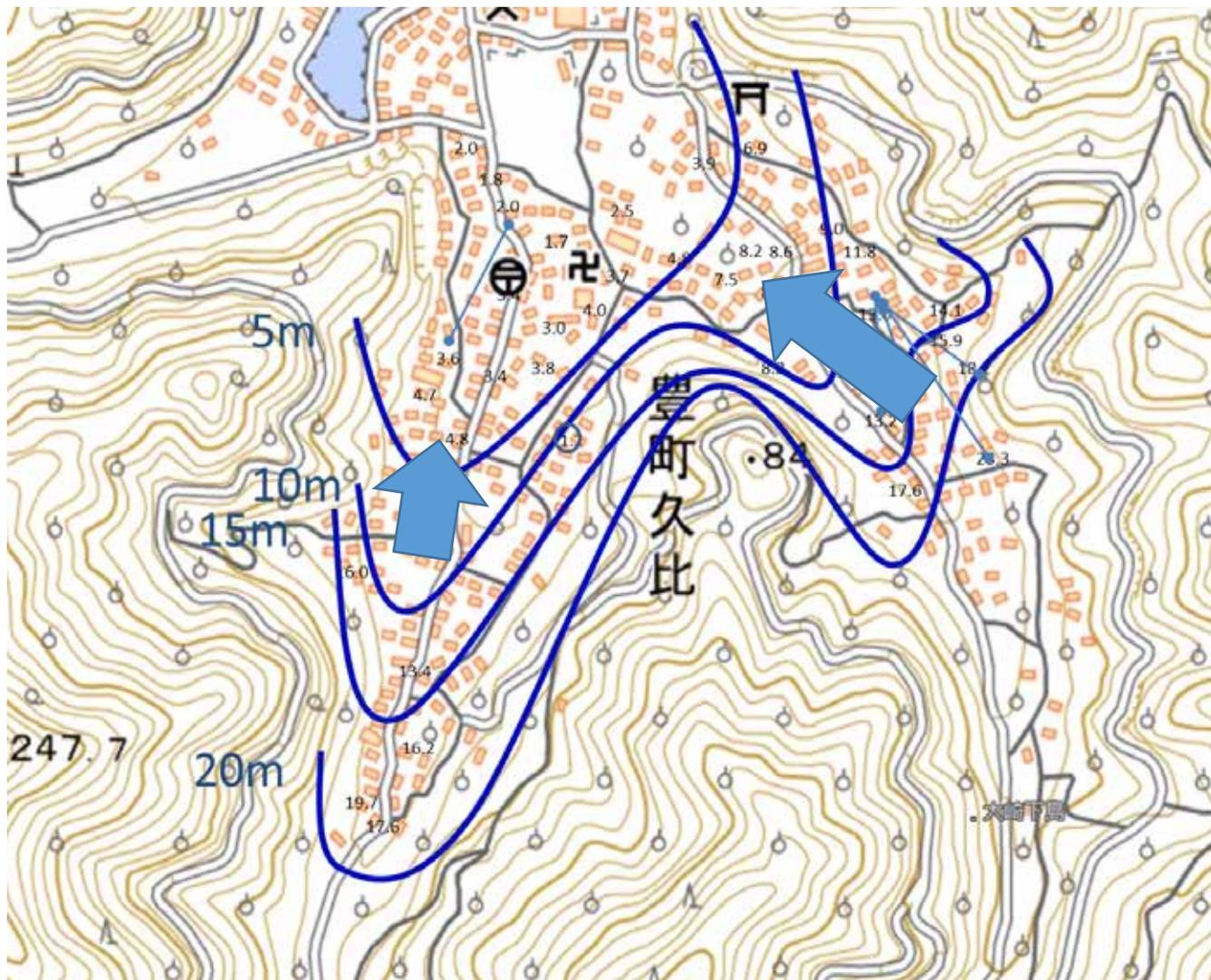
広大・岡大・サンパウロ大研究者による
視察（8人）

3/9

久比における調査報告会（6人）

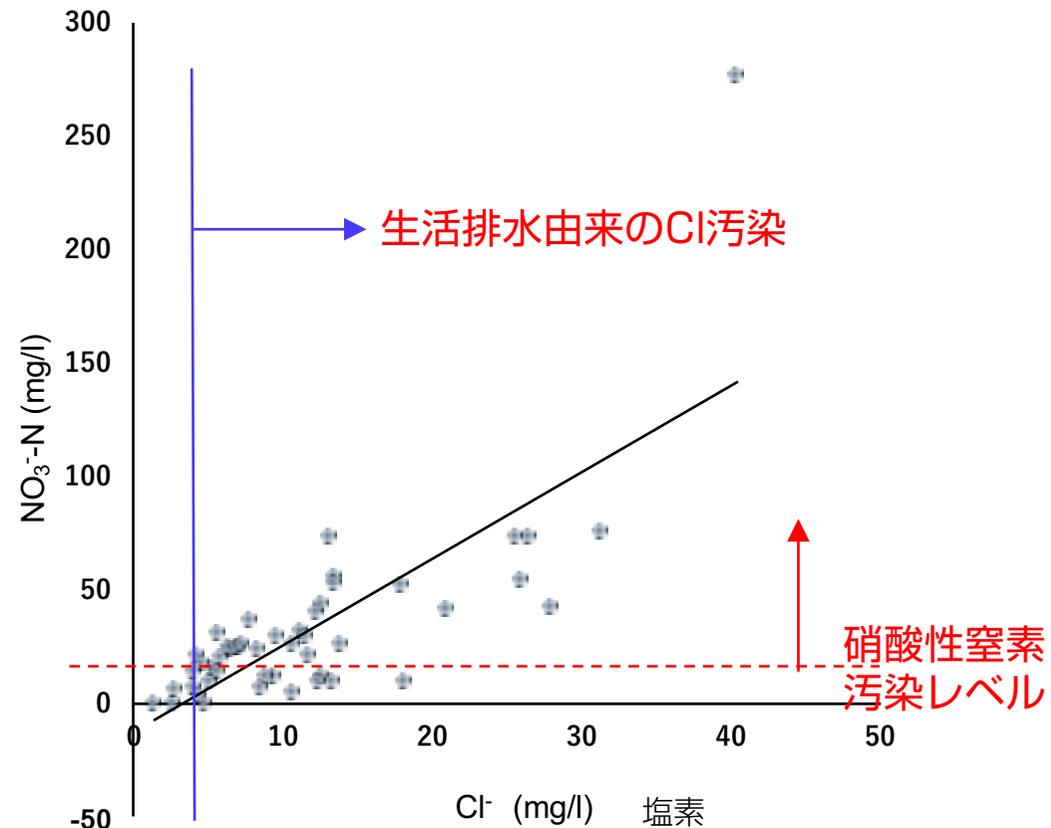
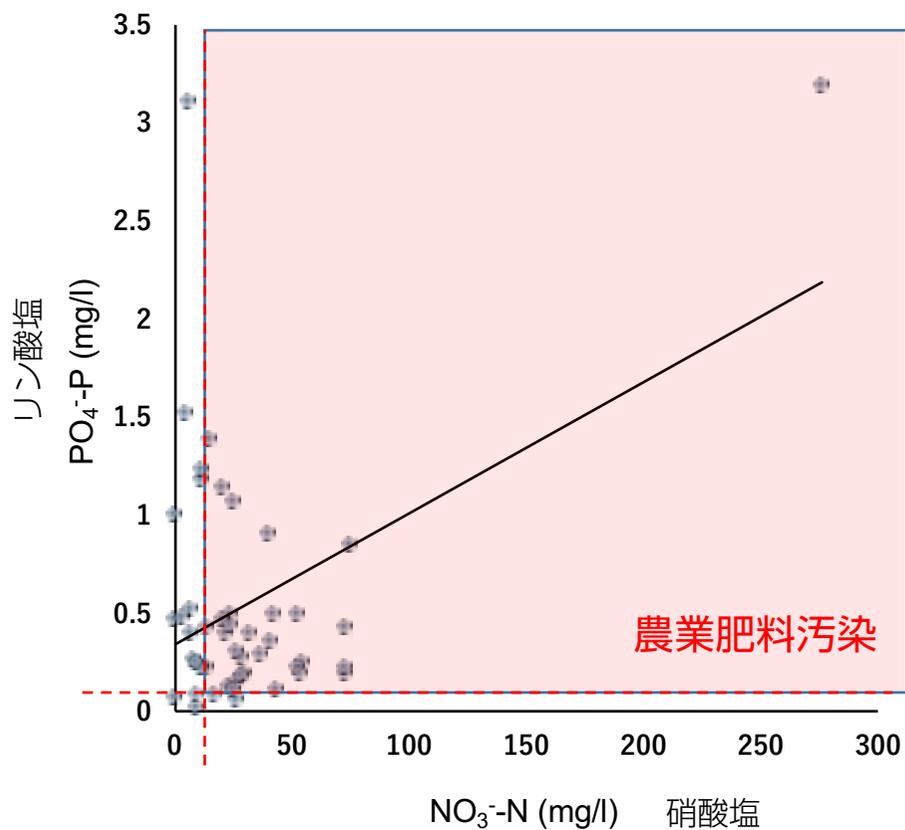
地下水面図

- 地下水勾配
 - 西谷0.0128<東谷0.056
- 年間流域水収支
 - 地下水涵養量=降水流入量-蒸発散量* - 河川流出量*
 - *生口島での研究成果を使用
 - 年間；163万t
- 1人1日使用可能量；9t
- 日本人平均 300Lの30倍



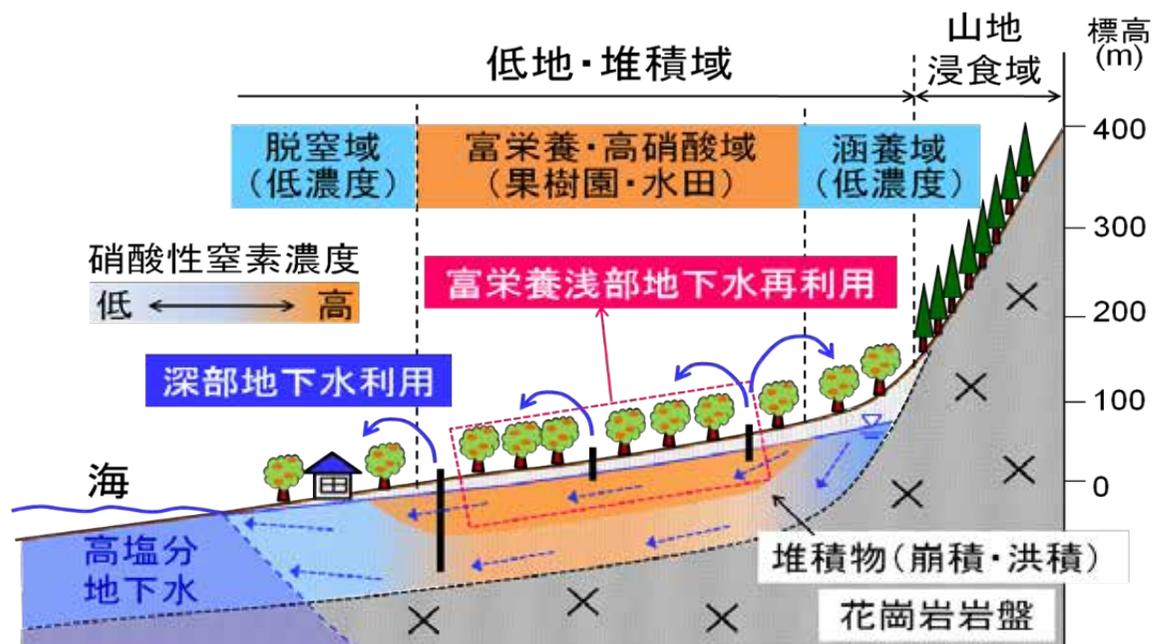
調査結果

低地の井戸では安全な水はなかった



低地の多くの井戸では、肥料成分や生活排水成分が検出された

流域水-肥料ハイブリッド再利用システム 持続可能地下水利用システム



- 上流域 (5%のエリア) ;
安全な水?! → 生活用・非常用水源
(日本人平均生活水量の30倍の水量の
5%=1.5倍の水量)
- 中下流域 ;
農業・生活汚染 → 農業用再利用・
中水 (お風呂・トイレ・洗濯など) 利用